

各教科等を合わせた指導「総合（おはなし）」学習指導案

授業日時 令和〇年〇月〇日（火）2校時

10:00～10:40

対象 高等部2年生2名

高等部3年生2名

指導者 T1 T2 T3

1 題材名：お話「まどから☆おくりもの」を聞こう・体験しよう

2 生徒の実態

本学級は高等部1年生2名、2年生3名、3年生2名の計7名で構成されている。1年生2名は、現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため登校できず、教員が訪問したりWeb会議システムを使った遠隔授業を実施したりしている。高等部2年生1名については、体調調整のため火曜日は登校していない。本学級の生徒7名ともおはなしの授業が好きであり、笑顔や発声、手をたたく等の意思表示をしたり、授業準備をしているとずり這いで近寄ってきたりすることもあった。授業の終わり10分程度は、水分補給や排泄指導、姿勢変換等を行っている。

それぞれの生徒の実態については次のとおりである。（省略）

3 題材設定の理由

本学習グループの生徒は、自立活動を主とする教育課程で学習している。各教科領域等を合わせた本校独自の指導形態である「総合」には、「リズム・からだ・つくる・おはなし・せいかつ」（高等部）等の授業がある。自立活動をベースとして、知的障がいの各教科等の一段階の目標内容を意識し、個々の目標を設定して授業を行っている。「おはなし」の授業は、週に2時間となっている。

鳴門教育大学大学院の余郷裕次教授は、絵本の読み聞かせは、「乳児に対する授乳と類似の刺激であり右脳と左脳を同時に活性化させ心を安定させる。生徒の精神発達やメンタルヘルスのために大きな効果を発揮する。また、人の声に耳を澄ませる姿勢が養われる」と言っている。

様々な感覚機能に困難性を感じる重度重複障がいのある生徒にとって、状況を把握したり見通しを持ったりすることが難しいことがある。「人や物の音に耳を澄ませ聞く」練習をすることでそれらの手助けになるようにしたい。また、様々な体験活動を取り入れながら、生徒が心を安定させ、「楽しい」と感じるおはなしの授業にしていきたい。

また、本学級の生徒は、卒業後は施設に入所・通所し生活の必要な場面において生活介助や支援を受けながら生活することが予想される。卒業後の生活でも生き生きと楽しく余暇を充実させ生活を送っていくことはとても重要である。本学級の生徒の保護者のニーズにも、共通して「楽しいことにチャレンジし、経験を広げ好きなことを増やす」ことが挙げられている。

本題材「まどから☆おくりもの」を通して、クリスマスという季節感を感じ、生徒の好きな活動や歌、五感に働きかけるような体験活動を取り入れながら絵本の読み聞かせを行いたい。絵本の中での、「サンタが色々な動物や人物の家の煙突にプレゼントを入れる」活動から、生徒自身がプレゼントを煙突の中に入れる、という活動を設定した。プレゼントが煙突に入ると、音楽等が流れるようにし、行為と結果の因果関係を理解し活動の意欲を高められるようにする。また、スイッチやスクリーンタッチャー等の情報機器を使用し、意思表示やコミュニ

ケーション・身体活動等に困難がある生徒にとっても使いやすく分かりやすい環境設定を行い、将来のコミュニケーション活動の練習の場としたい。

4 題材の目標

- (1) 絵本や目の前に提示されたものを注視・追視することができる。【知識及び技能】
- (2) 聞く（声・楽器・動物の鳴き声）、感じる（風や水）、匂う（野菜や食べ物）、見る（絵本やペープサート等）活動を体験し、発声や体の動き、表情等で表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) スイッチを押して挨拶をしたり歌をスタートさせたりすることができる。【学びに向かう力、人間性等】
- (4) 自分の好きな贈り物を選び、煙突に入れることができる。【学びに向かう力、人間性等】

5 指導計画（全7時間 本時5/7）

- ① 「まどから☆おくりもの」のお話を聞こう・・・1時間
- ② 「まどから☆おくりもの」のお話を体験しよう・・・2時間
- ③ 自分へのおくりものを選んでみよう・・・2時間
- ④ 「まどから☆おくりもの」のおくりものをしてみよう・・・2時間

6 1・2学期の計画

	絵本・ペープサート・大型紙芝居のタイトル	体験的な活動
4月	「せっけんつるりん」 「からすのパン屋さん」	感じる（泡・パン・石鹸） 匂う（パン・れもんハーブ・ラベンダー等） 見る（絵本・泡・パン・石鹸） 聞く（T1の声・歌・タンバリンの音）
5月	「ちいさなこいのぼりのぼうけん」 「たまごにいちゃん」 「なにを食べてきたの」 「パン屋さんでいただきます」	感じる（風・たまご模型を入れる・野菜果物模型の形・パン） 匂う（パン） 見る（絵本・パン・野菜模型） 聞く（T1の声・歌・タンバリンの音）
6月	「野菜のパーティ大騒ぎ」 「おめでとう」 「すてきなプレゼント」 「そらいろのたね」 「ねずみの魚釣り」	感じる（風船・絵の具） 匂う（トマト・レタス） 見る（風船・生徒写真） 聞く（歌・声）
7月	「かえるののだじまん」 「ねずみのすもう」	感じる（餅つき・綿） 匂う（お餅） 見る（ペープサート・大型紙芝居） 聞く（カエルの鳴き声・歌）

9月 10月	「さつまのおいも」 「14ひきのあきまつり」	感じる（さつまいも） 匂う（さつまいも・くり） 見る（御神輿） 聞く（御神輿かけ声、歌）
11月 12月	「まどから☆おくりもの」 「雨の日の遠足」 「トントントン」	感じる（風・水・雪） 匂う（にんじん） 見る（煙突模型） 聞く（動物の鳴き声・音楽）
1月 2月 3月	「わたしのゆたんぽ」 「あったまろう」	感じる（ゆたんぽ・水・雪・お湯） 匂う（温泉の素） 見る（雪だるま・温泉の色） 聞く（お湯の音、温泉の歌）

7 本時の目標

	個別の学習目標	自立活動の指導区分
A	- 大型TVの画面を歌が流れる間注視することができる。 - 扉を右手で「トントントン」とノックすることができる。 - 贈り物を家の煙突に入れることができる。	4－（1） 5－（1） 6－（1）2－（1）
B	- 大型TVの画面や教員の模範を注視することができる。 - スイッチを押して、「絵本のとびら」「終わりの歌」の音楽をスタートさせることができる。 - スイッチを押して風を出すことができる。	4－（1） 5－（1） 6－（1）
C	- 終わりの挨拶をするときに発声することができる。 - 楽器を持ち教員と一緒に鳴らすことができる。 - 目の前にある楽器を注視することができる。	6－（1） 6－（1）2－（1） 5－（1）
D	- 大型TVの画面を15分程度注視することができる。 - 発声ではじまりのあいさつをすることができる。 - 贈り物を煙突に入れることができる。	5－（1） 6－（1） 6－（1）2－（1）

8 本時の展開

時間	学習活動	支援上・指導上の手立て			評価規準
		T1	T2	T3	

30秒	・ 始まりの挨拶をする	・ 授業がはじまるまで「はじまるよ」の音楽を流しておく ・ パワーポイントでDの画像を出し、「Dさん、はじまりの挨拶をお願いします」と伝える	・ Cの横で生徒を見守り、咳き込みが多い場合は、痰をスポンジブラシでとる	・ Dと一緒にはじまりの挨拶を行う	・ はじまりの挨拶を発声をして行うことができる (D)
3分	・ 絵本のとびらを歌う ・ 一人ずつノック「トントントン」をする	・ 歌が終わったら一人ずつ呼名し各々の仕方でノックをするように支援する	・ スクリーンタッチャーに繋げたスイッチをBの目の前に提示する	・ iPadの画面とスクリーンタッチャーの接続を行う	・ 「絵本のとびら」をスタートさせることができる (B) ・ 扉を右手で「トントントン」とノックすることができる (ABC)
15分	・ 自作の「まどから☆おくりもの」のお話の読み聞かせを聞く	・ パワーポイントで自作の絵本の読み聞かせを行う ・ 読み聞かせの中に出てくる音楽や「風」「楽器の音」等を生徒が感じることができるようにする。	・ 生徒が注目できるようにBの横で見守る	・ サンタ役になり、煙突にプレゼントを入れる模倣を行う	・ T3の見本をしている方向に顔を向けて5秒程度注視することができる (ABD)
15分	・ 生徒がサンタになり、贈り物を煙突に入れたり、楽器演奏をしたりする	・ サンタ役の子に帽子を渡し、煙突に贈り物を入れるように進行する	・ Cと一緒に自作楽器を演奏する ・ Bの目の前にスイッチを提示する	・ AとDの生徒の目の前に「贈り物」(靴下とにんじんの模倣型)を提示し、煙突に入れるようにする	・ 贈り物を煙突に入れることができる。(AD) ・ 楽器を持ち、T2と一緒に演奏することができる (C) ・ スイッチを押して風を出すことができる (B)
3分	・ 終わりの歌を歌う	・ パワーポイントで「終わりの歌」を出し、Bの呼名を行う	・ スクリーンタッチャーに繋げたスイッチをBの目の	・ iPadの画面とスクリーンタッチャーの接続を行う	・ 「終わりの歌」をスタートさせることができる (B) ・ T1とハイタッチをする

		・歌の間奏の時に、ABCDとハイタッチを行う	前に提示する		ことができる（ABC） ・呼名の後、T1とハイタッチをして、笑顔や身体の動きで反応することができる（C）
30秒	・終わりの挨拶をする	・パワーポイントでCの画像を出し、Cの呼名を行う	・Cの横で、「これでおはなしを」と言った後、10秒程度待つ。発声が出たら次の挨拶の言葉を使う		・ビッグマックを押して終わりの挨拶をすることができる（ABCD）

9 準備物

スクリーンタッチャー・大型スクリーン・iPad・ケーブル・絵本の扉模型・小型スイッチ・スケジュールボード・楽器（タンバリン）・煙突と家模型・ビッグマック4（生徒の好きな音楽を入れた物）・プレゼント・おにぎり・長靴・パワーリンク・ドライヤー・ツリーチャイム・骨・にんじん・鈴

10 教室の配置図

